

【資料4】第2次やちよ男女共同参画プランに基づく取組事業総括一覧(令和3年度～令和6年度実績)

[⑩欄の評価] A-計画どおり実施 B-概ね実施 C-取組に遅れがあった D-取り組めなかった

①目標	②課題	③施策	④事業番号	⑤プランの頁	⑥事業名	⑦所管課	⑧実績	⑨令和3年度～令和6年度事業実績	⑩「概ね実施」・「取組に遅れがあった」「取り組めなかった」の理由	⑪評価	
1 共に つくりだす 誰もが活躍 できる環境	(1)女性の活躍推進	①政策・方針決定過程への女性の参画	1	12	審議会等委員への女性委員登用促進	企画経営課	1. 計画どおり実施	令和5年度から、例年実施していた「各種審議会等における女性委員登用率未達成に関する状況調査」の調査票に、改善方法を加えることで、各審議会の所管課に対して、女性委員割合向上を促すことができた。また、審議会委員登用の際には、所管課に対して、千葉県女性人材リストを積極的に利用するよう、働きかけることができた。 【女性委員割合】 令和7年3月31日現在：34.38%		A	
			2	12	女性の政治分野への参画推進	企画経営課	3. 取組に遅れがあった	「やちよ べあ」の発行や図書館でのポスター掲示など意識啓発を行うことができた。	議会事務局や選挙管理委員会事務局と連携して、事業を実施する予定であったが、選挙の公平性という観点などの懸念事項もあり、取組が難しくなった。今後も取組内容については、十分精査する必要がある。	C	
						議会事務局	2. 概ね実施	男女共同参画センターからの依頼に基づき、令和3年度は「やちよべあNo.44 for young」作成に向けた女性議員との調整を行うことができた。	令和4年度以降は、男女共同参画センターによる女性の政治参画に向けた情報紙等の作成や講座の実施がなかったため、女性議員との調整が生じなかった。	B	
		3	13	女性の就職支援	企画経営課	1. 計画どおり実施	就職や再就職、キャリアアップを目指す女性を対象に、就職サポート講座を開催し、情報を提供した。		A		
					商工観光課	1. 計画どおり実施	千葉県及び近隣市と連携し、毎年度女性向けの再就職セミナーを開催することで、目標を達成することができた。		A		
		4	13	女性の起業支援、ネットワークづくりの機会の提供	企画経営課	1. 計画どおり実施	起業を目指す女性などを対象に、講座や講演会を開催することで、情報交換の場を設けることができた。また、市ホームページに講座レポートや起業に関する4コマまんがを掲載し、情報を発信することができた。		A		
					商工観光課	3. 取組に遅れがあった	令和3年度については計画どおり実施することができたが、4年度・5年度は1回のみ開催となり、6年度は開催することができなかった。	当課ではあらゆる世代を対象に支援を行っているため、「女性のみ」の「起業」をテーマとしたセミナーを開催することが難しく、また、関係機関からの情報が入らないこともあったため計画どおり取り組むことができなかった。	C		
		5	14	ロールモデルの紹介による女性のエンパワーメント	企画経営課	1. 計画どおり実施	働く女性の目標となるロールモデルの紹介を通し、女性のエンパワーメントに向けた意識付けを行うことができた。		A		
					企画経営課	1. 計画どおり実施	電話での傾聴により実施していた「女性、こころの悩み電話相談」を、面談も可能な「女性サポート相談」に切り替え、相談者が自ら問題を解決できるよう支援する体制を整えた。今後も支援体制を充実させるため、実施日の拡充等を検討していく。		A		
		(2)職場と家庭における男女共同参画	①生活と仕事を両立できる環境づくり	7	17	関係機関と連携した情報提供	企画経営課	1. 計画どおり実施	商工会議所など関係機関と連携し、再就職に役立つ制度や給付金に関する情報提供を行った。		A
							商工観光課	3. 取組に遅れがあった	関係機関と連携し、「商工やちよ」を発行することで、情報提供を行うことができた。	情報提供を受けられなかった年度があったため。	C
			②家庭における男女共同参画	8	17	男性の家事・介護参画促進	企画経営課	1. 計画どおり実施	男性を対象に家事や介護に関する講座を実施し、講座レポートを市ホームページに掲載することで、情報提供を行うことができた。		A
							子ども保育課(子ども支援センターすてっぷ21)	2. 概ね実施	令和3年度から5年度の5月までは新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響により、父親が参加しやすいイベントの実施には至らなかった。一方で、父親と子どもが利用に訪れた時には、遊びの紹介や父親と一緒に読んで欲しい絵本の紹介をし、父親向けの新聞作成のためアンケートを行った。	父親が参加しやすいイベントの計画通りの実施は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響があり難しかったが、男性保育士による親子で遊べる手遊びの動画配信をするなど、できることを模索した。	B
							母子保健課	1. 計画どおり実施	令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教室を中止する状況となり、ホームページ等による情報提供を行っていたが、令和4年度から教室を再開し、毎年ニーズや実績から事業の見直しを行いながら実施している。令和6年度からは夫婦同士のグループワークを導入することにより、他の夫婦との交流もできるような体制とした。また、年8回程度だった土曜日開催を、より夫婦が参加しやすいように令和6年度から全日程を土曜日開催とした。		A
企画経営課	1. 計画どおり実施						父親が子どもと一緒に参加して学んだり遊んだりする機会や、父親同士の交流の場をつくることで、父親の子育てへの参画を促進した。また、支援の拡大を図るため、八千代台東南公民館と合同で開催した。		A		

[⑩欄の評価] A-計画どおり実施 B-概ね実施 C-取組に遅れがあった D-取組みなかった

①目標	②課題	③施策	④事業番号	⑤プランの頁	⑥事業名	⑦所管課	⑧実績	⑨令和3年度～令和6年度事業実績	⑩「概ね実施」・「取組に遅れがあった」「取組みなかった」の理由	⑪評価	
2 互いに認め合う「個性が尊重されるまち」	(1)人権の尊重	①一人ひとりを大切に する意識づくり	10	20	ジェンダー平等の周知と啓発	企画経営課	1. 計画どおり実施	図書館等と連携したパネル展示や地域情報誌「リアッタ」への4コマまんが掲載によって、SDGsに掲げるジェンダー平等や、女性の権利に関する周知と啓発に取り組むことができた。		A	
			11	20	職員の意識啓発	職員課	1. 計画どおり実施	階層別研修のうち、新規採用職員研修および主事研修において男女共同参画や性の多様性に関する研修を実施し、職員の意識啓発を図った。 【受講者数】 ・新規採用職員研修延べ165人 ・主事研修延べ85人		A	
						企画経営課	2. 概ね実施	男女共同参画への職員の理解を深めるために、ジェンダー平等や性の多様性に関する研修等を実施し、意識啓発を行うことができた。	パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度に関する研修が実施できなかったため。	B	
		12	21	多様な性への理解促進	企画経営課	1. 計画どおり実施	性的マイノリティ当事者や関係団体とのつながりを構築・連携することより、職員向けガイドラインの作成や多様な性への理解促進を図るための活発な広報及び啓発活動を行うことができた。パートナーシップ制度については、未成年の家族も含めた「パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度」とし、令和7年4月1日導入に向け調査・研究・準備を行った。		A		
		13	21	性別記載欄の削減	企画経営課	1. 計画どおり実施	性別欄の状況調査を実施することにより、各種書式における性別記載欄の必要性について周知し、各課で検討する機会を設けることができた。また、「すでに削除または記載方法を変更した」件数が令和3年度52件から令和6年度81件に増加した。		A		
	(2)DVの防止と支援体制の整備	①DVを無くすための 取組強化	14	22	早期解決につなげるための 情報発信	企画経営課	1. 計画どおり実施	「広報やちよ」や商業施設の掲示板等で、DVが人権侵害であることや、相談窓口についての情報を発信し、周知・啓発を行った。		A	
			15	23	DVの根絶に向けた啓発事業の実施	企画経営課	1. 計画どおり実施	「女性に対する暴力をなくす運動」実施期間に合わせた啓発活動を通じて、暴力が犯罪であることを周知したほか、DVやハラスメントの防止に向けた、アンガーマネジメントに関する講座を実施した。		A	
			16	23	次世代への啓発活動	企画経営課	2. 概ね実施	若年層被害予防月間に合わせた市ホームページへの掲載や成人式でのリーフレットの配布により、「デートDV」が暴力であることや、自分を大事にする生き方を選ぶことの大切さを周知した。	令和4年度以外は、市内大学にデートDVに関するリーフレットの配布やポスター等の掲示を依頼することができなかったため。	B	
		17	23	相談による支援	福祉総合相談課	1. 計画どおり実施	身の安全確保や一時保護のための情報提供のほか、問題解決に向かうための関係機関の紹介や制度の情報提供を行うことができた。		A		
		18	24	関係機関との連携	福祉総合相談課	3. 取組に遅れがあった	関係機関を招集し、DVの支援体制の充実や関係各課との連携強化を目的としたネットワーク会議を1回実施し、DV支援に係る課題等を協議した。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止や新規事業の推進により、当該会議の優先度が下がったため、開催を見合わせた。	これまで生活困窮者自立支援制度における支援調整会議においてDVを含む行政課題に関して意見交換を行っていたが、DV被害者が必ずしも生活困窮者ではないため、本来の目的に沿った見直しが必要となった。重層的支援体制整備事業の推進に向け、会議のあり方を見直し、今後については個別課題に関しては支援会議または重層的支援会議、行政課題については重層的支援体制整備事業推進協議会において協議することとした。	C		
					子ども相談センター	1. 計画どおり実施	要保護児童対策地域協議会進行管理連絡部会にて関係機関と連携し支援方法を検討し、DVに係る子どもの心理的虐待への対応を行うことにより、DV被害者への子育て・育児支援を行うことができた。		A		
	(1)性別に基づく固定化した役割の解消	①固定的な役割分担意識の解消	19	26	市ホームページや情報メール等による情報発信	企画経営課	1. 計画どおり実施	市の情報ツールを効果的に活用し、ジェンダー平等に関することや、やちよ男女共同参画プランについての情報発信を行った。		A	
			20	26	図書館との連携	図書館	1. 計画どおり実施	毎年、市内5図書館各館で展示の時期を交替で設定し、男女共同参画、DV、ジェンダー、多様な性に関する図書展示を行うことにより、周知に努めた。		A	
						企画経営課	1. 計画どおり実施	図書館と連携して、男女共同参画関連図書展示のなかで、パネルの提供や啓発資料の設置などを行い、市民に対して男女共同参画に触れるきっかけを作ることができた。		A	
			21	26	市発行物における、男女共同参画の視点からの表現に関する情報の発信	企画経営課	1. 計画どおり実施	男女共同参画の視点からの表現に関する情報を庁内に発信したことで、固定的役割分担意識の解消につなげることができた。また、令和5年3月に策定した「性の多様性を認め合い行動するためのガイドライン」を活用し、性別記載のあり方や性的マイノリティの方々の方が不快に感じる表現等について周知を行った。		A	
		22	26	市民・事業所・職員等を対象とした意識調査実施	企画経営課	1. 計画どおり実施	市民・事業所・職員等を対象に、男女共同参画に関する意識調査を実施し、その結果を事業の推進やプランの策定に活用することができた。		A		
		(2)多様な視点を生かした防災対応	①地域の防災活動への女性の参画の促進	23	28	防災訓練等における啓発	危機管理課	1. 計画どおり実施	4年間を通し、自主防災組織等から依頼のあった防災訓練（講話）で女性の参画の重要性の説明を目標回数以上行うことができた。しかし、自主防災組織の会長や避難所運営委員会などでまだ男性主体の活動が多い印象があり、引き続き女性の参画への必要性については周知をしていく必要がある。		A
							企画経営課	1. 計画どおり実施	多様なニーズに配慮した運営ができるよう、男女共同参画の視点からの防災を周知することにより女性が避難所運営等に参画するきっかけを作ることができた。		A
24				28	女性消防団員との連携	消防総務課	1. 計画どおり実施	本部分団は救命講習や火災予防啓発活動などの活動が多く、連絡調整は常日頃から頻繁に行っている。今後も、連絡調整を継続するとともに、図上訓練や各種研修会等への参加を積極的に促していこうと考えている。		A	
					企画経営課	1. 計画どおり実施	本部分団(女性消防団)と連携し、情報紙の発行や、主催講座等の啓発事業を実施し、防災分野への女性参画の推進を図った。		A		
	25	28	女性の避難所運営への参画推進	危機管理課	1. 計画どおり実施	防災会議委員の更新にあわせて、依頼文書に毎回女性の参画の重要性について記載した。また、地域防災計画や災害対応マニュアルの修正にあわせて女性の参画についての内容を追記等して防災分野に女性が参画することについての理解促進を図った。		A			

【①欄の評価】 A-計画どおり実施 B-概ね実施 C-取組に遅れがあった D-取組めなかった

①目標	②課題	③施策	④事業番号	⑤プランの頁	⑥事業名	⑦所管課	⑧実績	⑨令和3年度～令和6年度事業実績	⑩「概ね実施」・「取組に遅れがあった」「取組めなかった」の理由	⑪評価			
3 自分らしく生きる 男女共同参画の推進	(2) 多様な視点を生かした防災対応	②さまざまな視点を取り入れた防災対応	26	28	男女共同参画の視点から取り組む防災情報の提供	危機管理課	4. 取組めなかった		広報紙の発行や講座の開催、市ホームページに掲載するなど男女共同参画の視点から取り組む防災に関する情報提供を行った。災害時の共助等のため、全国の男女共同参画センター間のネットワークの構築を目的とした「災害時における男女共同参画センター等の相互支援ネットワーク」に加入したことで、平時、災害時問わず、加入センター同士で情報交換できる体制を築くことができた。	広報やちよの限られた紙面に、毎年類似した内容を掲載する中で、準備が整わず取り組むことができなかった。取組指標ではないが、令和6年度に修正した市ホームページ「在宅避難」への備え～より良い避難生活を送るために～やハザードマップの記事欄で女性や乳幼児の備えについて一部掲載した。	D		
						企画経営課	1. 計画どおり実施				A		
			27	28	避難所開設担当職員等への意識啓発	危機管理課	1. 計画どおり実施	新規で収容班に選任された職員に対し、毎年研修を行っているが、避難所における性被害の危険性や男女共同参画視点の防災対応について、男女共同参画センターと連携し、周知を図ることができた。			A		
						企画経営課	1. 計画どおり実施	職員に対し、過去の被災地での経験談などを紹介し、避難所で性暴力が多く起こっている実状や女性の困難などを知らせてもらうことで、避難所運営等における女性参画の重要性について意識付けを行うことができた。			A		
			(3) 次世代に向けた意識づくり	①教育におけるジェンダー平等の推進	28	29	児童生徒のジェンダー平等の意識づくり	企画経営課			1. 計画どおり実施	指導課と連携し、小中義務教育学校合わせて14校で、男女共同参画に関する市民意識調査等の結果を解説した「ナイスさんかく！ 4コマまんがパネル展」を実施。ジェンダー平等について児童生徒が認識を持つきっかけを作ることができた。また、対象校の児童生徒や教員に男女共同参画に対する考えや今後の希望についてのアンケートを行った。	A
								指導課			1. 計画どおり実施	男女共同参画センターと連携して、児童生徒及び教職員へのジェンダー平等についての啓発を行い、認識を持つ機会を設定した。 【実施校】 合計14校/29校	A
	29	29			教職員研修の実施	指導課	1. 計画どおり実施	各小中義務教育学校の学校人権教育主任を対象にした学校人権教育研修会の開催や、千葉県中学校人権研修会における性に関する多様な考えを周知することで、人権に対する意識啓発を図ることができた。また、「女性に関する人権課題」「子どもに関する人権課題」「児童虐待に関する人権課題」「ヤングケアラー」など、数ある人権課題の中でも、テーマを絞って人権啓発を図ることができた。	A				
	30	29			個性を伸ばす保育の実践	子ども保育課	1. 計画どおり実施	園長会議等においてジェンダー平等に関する資料や配信映像、研修報告などを共有し、固定的な性別役割分担意識の解消のための共通理解を図るとともに、職員に展開し、保育の振り返りを行うことでジェンダー平等の意識付けの向上を図ることができた。	A				
	31	30			性教育の実施	保健体育課	3. 取組に遅れがあった	市内中学校及び義務教育学校後期課程11校中最大11校実施 市内小学校及び義務教育学校前期課程20校中最大8校実施	新型コロナウイルスやインフルエンザ等感染拡大防止の影響により、段階的に実施せざるを得ない状況であったため。感染症等の制限がない今後は全校実施に向けた積極的な周知を行ってきたい。	C			
	32	30			学生への意識啓発	企画経営課	2. 概ね実施	学生向けの効果的な情報提供について検討し、市内大学や専門学校に対して、ジェンダー平等に関する情報を提供した。	新型コロナウイルス感染拡大防止や大学との調整不足により、継続的に周知することができなかった。	B			
	4 みんなの力で推進する 連携	(1) 連携体制の構築	①庁内組織の活用 ②国・県・近隣自治体との連携 ③市民や関係機関との連携	33	30	庁内推進体制の充実	企画経営課	1. 計画どおり実施	八千代市男女共同参画推進会議による計画取組事業の評価や、次期プラン策定に向けての意見等により、推進体制の強化を図ることができた。		A		
				34	31	会議等への参加	企画経営課	1. 計画どおり実施	県が開催する会議に参加することで、県内各市との情報交換を積極的に行うことができた。		A		
35				31	市民参加の推進	企画経営課	1. 計画どおり実施	やちよ男女共同参画プラン懇話会での意見収集や、らいてうの会・クッキング男塾等の男女共同参画センター支援団体との連携によって市民参加の推進を図ることができた。		A			
36				31	関係機関との連携	企画経営課	2. 概ね実施	関係機関と連携し、講座やセミナーを開催したほか、包括連携協定を締結している企業を通じて、広く市民に主催事業の周知を行うことができた。	令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、情報交換を行う機会を持つことができなかった。	B			
(2) 進行管理の充実		①計画推進のための進行管理	37	31	進捗状況調査の実施と評価	企画経営課	1. 計画どおり実施	毎年、各担当課に当該年度の取組事業について調査をして、効果的な計画の進行管理を実施することができた。また、庁内会議やプラン懇話会の意見を反映し、取組を推進した。		A			